

## 水の大切さと処理しせつの役わり

中村 結菜

八女市立立花小学校

私は、八月に下水処理しせつをオンラインで見学しました。下水処理しせつには、たくさんのお水が流れてきていました。下水の種類は大きく二つに分けられます。

一つ目は、生活はいい水です。生活はいい水とは、生活の中で使った汚れてしまった水のことです。

二つ目は、工場はいい水です。工場はいい水とは、工場ですべて汚れた水のことです。

このように、下水処理しせつには、家庭や工場から水が流れてきます。

流れてきた下水は、最初沈でん池、反応タンク、最終沈でん池を通り、だんだんと水がきれいになっていきます。反応タンクには、活性汚泥がいて、よごれを食べてくれます。そして、中央かん視室は下水処理場の中の色んな機械を遠かくで動かしています。水がどれだけきれいになったかは「水質試験室」で検査します。

このように、下水処理しせつはとても手間のかかる仕事ばかりです。それに費用もかかるのです。

水はみんなが使う、とても大切な資源です。下水道は汚れた水をきれいにして、川や海などの自然を守っています。水がきれいになると、わたしたちの町も臭くならず、清けつで住みよくなります。それに、私達だけでなく川や海に住む魚たちも水がなかったら一日も生活

できません。水のじゅんかんに大きな役割を果たしている下水道はとても大切です。

今私達にできることは、生活はいい水をへらすことです。また、ゴミや食べ残しを下水に流してしまうと、下水管が詰まる原因になってしまいます。それに、活性汚泥は油がとても苦手です。だから水を出しっぱなしにしないようにしたり、油を下水管に流さないようにしたりしたいです。また、しせつの見学で学んだことをより多くの人のために広めていきたいと思いました。